

部 局	(危機管理課)	補 職	部 長	氏 名	危機管理監
-----	---------	-----	-----	-----	-------

1. 部局の使命

“自助・共助・公助”が築く安全・安心のまち とよなか
 「自らの命は自らが守る『自助』、自分たちのまちは自分たちで守る『共助』、行政による『公助』」の相互連携のもと、いざという時、市民、事業者、行政が、それぞれの役割を果たし、豊中市全体として危機事態への迅速かつ的確な対応が図られるよう取り組み、安全・安心なまちづくりを推進する。

2. 使命を遂行するための取り組み方針と、それに基づく取組みの総括 方針取組みの総括

方針	取組みの総括
<p>(1) 災害対応力の強化 大規模災害などの危機事態に対して、すべての組織の力が発揮できるよう対策を充実させます。特に職員一人ひとりが、災害時の役割を認識し、日ごろから準備や訓練を通して危機事態に対処できるよう災害対応力を強化します。 また、近年、災害が頻発していることを踏まえ、災害対応の在り方や避難所開設手法等の検討を行います。</p> <p>(2) 地域の防災力の向上 さまざまな場・機会や媒体を通して、市民一人ひとりの防災意識の向上に取り組みます。また、災害時に小学校は重要な防災拠点となりますが、地域のつながり作りや防災力の向上をめざして、小学校区単位で取組まれる地域ぐるみの自主防災活動への支援を充実します。 避難行動要支援者の安否確認や避難支援に備えるため、地域における避難支援体制の構築をめざします。</p> <p>(3) 地域の防犯力の向上 地域の安心・安全のため、『暮らし安心・安全見守りカメラ』の維持・管理を行うとともに、防犯力向上のため、地域における防犯活動の支援を行います。</p>	<p>○当該年度は、台風等に伴う災害はありませんでしたが、気象警報の発令に伴い、予め設定した業務分担のもと、風水害警戒体制を5回設置し、対応にあたりました。また、出水期に先立ち市内の土砂災害警戒区域等を巡視し、異常の有無の確認を行いました。</p> <p>○新型コロナウイルス感染症に対しては、政府及び大阪府の決定事項を踏まえ、遅滞なく豊中市新型コロナウイルス対策本部会議を開催し、情報の共有と対応方針の決定を行いました。</p> <p>○新型コロナウイルス感染症のまん延に伴い、災害時に避難所での密集をさけるため、感染症対応に係る避難所開設・運営マニュアルを作成するとともに、避難所運営体制の強化を図りました。また、避難所での感染症対応物品として、手指消毒液、非接触型体温計、簡易テント、簡易ベッド等を準備しました。</p> <p>○洪水・高潮時の指定緊急避難場所を拡充するため、民間事業者と災害時の施設の提供に係る協定を締結しました。</p> <p>○自主防災活動の支援については、密集を避ける必要があり、例年通り実施することは困難でしたが、出前講座のリモート開催や防災市民講座の動画配信など工夫をして実施しました。</p> <p>○避難行動要支援者対策については、避難行動要支援者への地域提供用名簿の提供を2回行うとともに、福祉部と連携し、感染症対策を図りながら、避難支援等関係者が実施する訓練への支援を行いました。</p> <p>○犯罪の早期解決のため、見守りカメラ等の画像を迅速に捜査機関へ提供しました。</p>

3. 当年度目標と目標設定に対する振り返り等

No	当年度目標(当初設定)	実績	
	取組み事項及びその内容・スケジュール	取組みを行った内容・成果	課題・今後の方向性
1	<p>新型コロナウイルス感染症に係る対策の推進</p> <p>○情報収集と庁内連携体制の確立 *新型コロナウイルス感染症対策本部の運営【随時】 *緊急事態措置に係る大阪府との連携・調整【随時】 ※本対策業務を優先し、通常業務のうち、感染症の拡大につながる講座や訓練等の事業については状況により休止・延期します。</p>	<p>○政府及び大阪府の決定事項を踏まえ、豊中市新型コロナウイルス感染症対策本部会議を計22回(令和2年度末時点)開催し、情報の共有と対応方針の決定を行うとともに、必要となる業務の調整等を行いました。</p> <p>○緊急事態宣言下において、庁内の協力体制のもと、広報車等による周知活動を行うとともに、飲食店の営業時間短縮要請への協力状況確認するため、巡視活動を実施しました。</p>	<p>○引き続き、国・大阪府の動向を踏まえ、市対策本部会議を開催し、情報の共有や対応方針の決定を行います。</p> <p>○感染症を予防しながら、必要となる業務が行えるよう、デジタル技術を活用した取組みを進めます。</p>
	総合計画		
	0-0-0		
	基本政策		
	0		

No	当年度目標(当初設定)	実績	
	取組み事項及びその内容・スケジュール	取組みを行った内容・成果	課題・今後の方向性
2	<p>災害時における対応力強化</p> <p>○近年頻発する災害に的確に対応するため、災害対応力の強化に努めます。</p> <ul style="list-style-type: none"> * 備蓄物資の整備拡充【上半期】 * 避難所看板の更新【12月末】 * 災害対応マニュアルの改正【3月】 <p>○訓練や職員研修等を通じて職員の災害対応力を強化します。</p> <ul style="list-style-type: none"> * 災害対応に係る新採研修・課長対象研修の実施【5月：課長対象研修、6月：新採研修】 * 豊能地区3市2町合同防災訓練の実施【11月12日（木）予定】 * 避難所開設訓練の実施【1月末】 * 業務ごとの災害時マニュアルや業務継続計画の点検・更新【随時】 <p>○災害リスクを踏まえた避難のあり方について、市民周知を行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> * 上下水道局と連携し、浸水ハザードマップ作成・配布【1～3月】 * 洪水・高潮避難ビルの指定【随時】 <p>○関係部局とともに、豊中市強靱化地域計画の進行管理を行います。【通年】</p>	<p>○備蓄物資は新たな整備目標量(地域防災計画平成31年3月改定)に基づき、計画的に調達を行いました。</p> <p>○避難所看板は、日本工業規格が定める災害種別避難誘導標識システムに準拠したものに更新しました。</p> <p>○災害対応マニュアルは、地域防災計画の改定内容等を踏まえ更新しました。</p> <p>○職員の災害対応力の向上として、課長対象研修(コロナ禍のため動画配信で実施)及び、新規採用職員に対して研修を実施しました。</p> <p>○豊能地区3市2町合同防災訓練については、新型コロナウイルス感染症に対応した避難所設営訓練を行いました。また、避難所開設職員による避難所開設訓練を実施しました。</p> <p>○想定最大規模降雨における浸水想定区域図を反映した浸水ハザードマップを、上下水道局と連携して作成し、自主防災組織へ配布しました。</p> <p>○洪水・高潮避難ビルとして新たに4施設を追加しました。</p>	<p>○備蓄物資については、引き続き、計画的に調達を進めます。</p> <p>○災害対策基本法改正等にあわせ、地域防災計画の改正を行います。</p> <p>○浸水ハザードマップの周知を図るとともに、高潮・土砂災害を含めた総合ハザードマップを作成・全戸に配布し、災害リスクの周知を図ります。</p> <p>○洪水・高潮避難ビルを拡充します。</p>
	<p>総合計画</p> <p>2-4-① 防災力の充実強化を図ります。</p>		
	<p>基本政策</p> <p>28 防災公園・公開空地の拡充</p>		

No	当年度目標(当初設定)	実績	
	取組み事項及びその内容・スケジュール	取組みを行った内容・成果	課題・今後の方向性
3	<p>小学校区単位の自主防災活動への支援</p> <p>○小学校区単位での自主防災組織の結成を促進するとともに、既に活動が行われている校区への支援を継続します。</p> <ul style="list-style-type: none"> * 校区自主防災組織の未結成校区への結成支援【通年】 * 校区自主防災組織活動助成金の支給【通年】 * 校区自主防災組織連絡会議の開催【8月・3月】 <p>○地域の実情や立地特性に応じた自主防災活動の充実・強化を図るため、とよなか防災アドバイザーを地域に派遣します。</p> <ul style="list-style-type: none"> * とよなか防災アドバイザー派遣制度の運用促進【通年】 * 避難所運営マニュアル・地域の防災マップ等の作成支援【通年】 	<p>○新たに庄内西小学校区で自主防災組織が結成され校区自主防災組織は29団体となりました。</p> <p>○地区防災圏自主防災活動の支援として、新規促進1団体、継続支援15団体に助成金を交付しました。</p> <p>○出前講座のリモート開催など、新型コロナウイルス感染症防止に留意しながら、とよなか防災アドバイザーを活用し、市民の自主的な防災活動の支援を行いました。</p> <p>○市が作成した感染症対応に係る避難所開設・運営マニュアルを校区自主防災組織にも周知しました。</p>	<p>○洪水や高潮での浸水が想定される南部地域を重点に、浸水ハザードマップの周知を行うとともに、コミュニティタイムラインの作成支援を進めます。</p> <p>○今年度整備した防災公園に資機材を整備するとともに、近隣の自主防災組織に活用方法について案内します。</p>
	総合計画		
	2-4-① 防災力の充実強化を図ります。		
基本政策			
	30 地域防災力向上への支援（自主防災組織への支援拡充、避難行動要支援者避難支援プランの推進）		

No	当年度目標(当初設定)	実績	
	取組み事項及びその内容・スケジュール	取組みを行った内容・成果	課題・今後の方向性
4	<p>避難行動要支援者の避難支援体制の構築</p> <p>○民生・児童委員、校区福祉委員会だけでなく、地域自治組織や自主防災組織など、様々な地域団体が協力・連携して避難行動要支援者の避難支援が行えるよう、地域の体制を強化します。</p> <p>＊避難行動要支援者名簿システムの運用【通年】</p> <p>＊各校区での避難行動要支援者名簿を活用した図上・実働訓練の指導【6・12月：名簿提供】 【訓練対応は随時】</p> <p>＊「無事ですシート（※）」の作成・配布</p> <p>＊災害時の安否確認及び避難誘導をスムーズに行うため、避難行動要支援者に個別配布。自宅の玄関扉外側に取付ることで、自身の安否を発信・伝達するツール。</p>	<p>○避難行動要支援者対策としては、名簿の更新を行い、避難支援等関係者に対し、年2回提供しました。また、福祉部と連携し、感染症対策を実施しながら、地域が実施する訓練の支援を行いました。</p> <p>○効率的な安否確認を行うツールである「無事ですシート」を避難支援等関係者の協力のもと、避難行動要支援者（同意者）に配布しました。</p>	<p>○引き続き、様々な地域団体が協力して避難行動要支援者の避難支援が行えるよう、支援体制の構築を図ります。</p> <p>○福祉部と連携し、個別避難計画の作成を進めます。</p>
	<p>総合計画</p> <p>2-4-① 防災力の充実強化を図ります。</p>		
	<p>基本政策</p> <p>30 地域防災力向上への支援（自主防災組織への支援拡充、避難行動要支援者避難支援プランの推進）</p>		

No	当年度目標(当初設定)	実績	
	取組み事項及びその内容・スケジュール	取組みを行った内容・成果	課題・今後の方向性
5	<p>市民一人ひとりの防災意識と地域防災力の向上</p> <p>○適切な避難行動等が行われるように、災害時における情報の入手方法や市の対応など事前に具体的な情報の発信を行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> * 広報紙での啓発特集記事の掲載【6月】 * 自主防災組織、自治会等を対象とした出前講座の実施【随時】 * 防災市民講座・防災パネル展の開催【2月：防災市民講座】【8・1月：防災パネル展】 * 「わが家の防災マップ」及び「浸水ハザードマップ」（点訳版・音訳版を含む）等の配布による市民啓発【通年】 <p>○次世代の防災リーダーを育成するため、学生を対象とした防災講座等を実施します。</p> <ul style="list-style-type: none"> * 高校生を対象とした、防災講座の企画実施による防災意識の育成【9月】 * 小学校6年生全員を対象にした防災啓発（備蓄物資（アルファ化米）の配布）の実施【2月】 	<p>○広報とよなか6月号では、出水期を前に風水害に備える特集を組むとともに、ホームページにより啓発活動を行いました。</p> <p>○出前講座については、コロナ禍での実施手法を検討・工夫し、リモート開催を行いました。</p> <p>○防災市民講座は、とよなか防災アドバイザーによる防災啓発動画を作成し、とよなかチャンネルで配信しました。</p> <p>○学生対象防災講座では、気象庁作成のeラーニング「自らの命は自らが守る」を市内全公立小中学校に授業等での活用を促しました。</p>	<p>○災害時において、市民一人ひとりが適切な行動をとれるように、具体的、実践的な情報を発信していきます。</p> <p>○コロナ禍を踏まえた、防災出前講座、防災市民講座等を検討・実施します。</p>
	<p>総合計画</p> <p>2-4-① 防災力の充実強化を図ります。</p>		
	<p>基本政策</p> <p>30 地域防災力向上への支援（自主防災組織への支援拡充、避難行動要支援者避難支援プランの推進）</p>		

No	当年度目標(当初設定)	実績	
	取組み事項及びその内容・スケジュール	取組みを行った内容・成果	課題・今後の方向性
6	<p>地域における自主的な防犯活動の支援</p> <p>○通学路を中心に市内の各所に設置している暮らし安心・安全見守りカメラ等の管理・運用を行います。 *駅前防犯カメラ及び暮らし安心・安全見守りカメラの管理・運用【通年】 *犯罪等の未然防止及び早期解決に繋ぐための捜査機関への画像データ提供対応【随時】</p> <p>○地域で行われている自発的な防犯活動を支援します。 *豊中市安全なまちづくり推進協議会の開催【5月】 *青色回転灯防犯パトロール活動団体並びに豊中防犯協議会及び豊中南防犯協議会に対する防犯活動支援助成金の交付【通年】</p>	<p>○犯罪の早期解決のため、806件の見守りカメラ等の画像データを捜査機関に提供しました。また、画像データの提供にあたっては、申請内容を厳格に審査し、適正な運用を行いました。</p> <p>○自治会に対する防犯カメラ設置補助を行いました。(累計実績30自治会・108台設置)</p> <p>○豊中・豊中南警察署と調整し、豊中市安全なまちづくり推進協議会を開催しました。(感染予防のため書面による開催)</p> <p>○青色回転灯防犯パトロール活動団体並びに豊中防犯協議会及び豊中南防犯協議会に対し、自発的な防犯活動を支援するため、助成金を交付しました。</p>	<p>○引き続き見守りカメラ等街頭防犯カメラの運用を行います</p> <p>○豊中・豊中南防犯協議会、両警察署と連携し、地域で行われている自発的な防犯活動を支援します。</p>
	<p>総合計画</p> <p>2-4-② 犯罪や消費者被害などの予防、被害拡大防止を図ります。</p>		
	<p>基本政策</p> <p>0</p>		

4. 中期目標(概ね今後4年間)

No	取組み事項及び取組みにあたっての課題・めざす成果など	スケジュール(工程)
1	<p>災害対応力の強化</p> <p>○適宜、地域防災計画や各種マニュアルを改正するとともに、災害対応の研修・訓練などを実施することにより、職員の災害対応能力を強化します。</p> <p>○近年、災害が頻発していることを踏まえ、災害対応の在り方や、避難所開設手法等について検討します。</p> <p>○浸水害が想定される南部地域において、浸水想定深を市民に周知するとともに、避難に時間的な余裕がない場合における緊急避難場所として、洪水・高潮避難ビルの指定を進めます。</p> <p>○新たな備蓄計画に基づき、備蓄物資の増量を計画的に実施するとともに、備蓄スペースの確保を進めます。また、必要な資材の確保を図るため、企業等との協定の締結を促進します。</p>	<p>○備蓄物資の増量 令和2年度（2020年度）～令和6年度（2024年度）</p> <p>○その他 継続して実施</p>
	総合計画	
	2-4-① 防災力の充実強化を図ります。	
	基本政策	
	28 防災公園・公開空地の拡充	
2	<p>地域の防災力の向上</p> <p>○市民一人ひとりの防災意識の向上を図るとともに、小学校区単位の自主防災組織が全校区で結成されることをめざします。</p> <p>○防災アドバイザーを地域に派遣し、災害種別や地域の立地特性に応じた防災支援を行い、自主防災組織等地域の防災力を強化します。</p> <p>○避難行動要支援者の避難支援においては、地域における避難支援体制の強化を図り、災害弱者のための共助の取り組みを推進します。</p>	継続して実施
	総合計画	
	2-4-① 防災力の充実強化を図ります。	
	基本政策	
	30 地域防災力向上への支援（自主防災組織への支援拡充、避難行動要支援者避難支援プランの推進）	

No	取組み事項及び取組みにあたっての課題・めざす成果など	スケジュール(工程)
3	<p>地域の防犯力の向上</p> <p>○通学路を中心とする市内各所に設置している暮らし安心・安全見守りカメラなどを適切に管理・運用するとともに、地域における自主的な防犯活動を支援することにより犯罪のない安心して暮らせるまちづくりを推進します。</p>	継続して実施
	総合計画	
	2-4-② 犯罪や消費者被害などの予防、被害拡大防止を図ります。	
基本政策		
0		